

(研究報告) 抄録用紙

演題名 (全角 80 字以内)	災害時に在宅療養者を支える効果的な備えのための視点の検討 －訪問看護師の災害看護実践行動の語りをもとに－
演者名	畑 吉節未
所属	神戸常盤大学

研究方法 (右から番号を 選び NO. 欄に番号 をご記入くださ い)	1. 症例報告 2. 症例シリーズ報告 3. コホート研究 4. 症例対照研究 5. 調査研究 6. 介入研究 7. 二次研 究 8. 質的研究 9. その他研究	NO.
		8

〔目的〕

本研究は在宅療養者を支援する訪問看護師が経験した災害看護実践行動をもとに、在宅療養者のための効果的な災害の備えを検討するための視点を明らかにすることを目的とする。

〔方法〕

(対象) 東日本大震災、新潟中越地震等の被災地で、在宅療養者の支援を行った 8 名の訪問看護師。(分析方法) 訪問看護師に個別面接を行い、災害時の看護実践行動の語りを読んでもらった。得られた語りを逐語録に整理し質的に分析した(研究デザイン: 因子探索型質的分析)。(倫理的配慮) 研究に当たっては神戸常盤大学研究倫理委員会の承認を得た。

〔結果〕

得られた語りから、《発災直後に療養者の状態を確かめケアを提供するための課題》《長期に及ぶ災害の影響への対処行動のためにとるべき方略の明確化の必要性》《日常からの災害想定や実際の訓練の重要性》の 3 カテゴリーと 8 サブカテゴリーを抽出できた。《発災直後に療養者の状態を確かめケアを提供するための課題》では、〈ライフラインの途絶による活動の制約〉〈優先順をつけた療養者の状態確認の重要性〉等の 3 サブカテゴリー、《長期に及ぶ災害の影響への対処行動のためにとるべき方略の明確化の必要性》では、〈災害が療養者に及ぼす影響を経時的に推論する重要性〉〈ライフラインの途絶が療養者に直接与える影響の明確化〉等の 3 サブカテゴリー、《日常からの災害想定や実際の訓練の重要性》では、〈備えのマニュアルに残る機能性の課題〉〈療養者の個別性を踏まえた有効性の高い備えの必要性〉の 2 サブカテゴリーを得た。

〔考察・結論〕

訪問看護師は在宅療養者の安否・健康状態の把握に努め、個別性の高い災害に対応するために、災害が療養者に与える影響を経時的、多面的に推論し、療養者の力を有効に活用するなどして柔軟に対処している。また、マニュアルだけでなく療養者の個別性を踏まえた備えの必要性等、備えを考えるための重要な視点が示唆された。